

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	特別活動の教育法				
担当者氏名	島田 和幸				
授業方法	講義	単位・必修	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・春期

《授業の概要》

特別活動は、教科ではないが、学級活動、児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事などへの参加を通して、児童・生徒の個性や人間関係の発達を促す極めて重要な教育です。本講座では、特別活動の意義、目標、内容、特別活動と教科、道徳、総合的な学習の時間などとの関連に重点を置いた指導を進めながら、指導計画の作成・内容の取り扱いも取り上げつつ教育現場で通用する実践力の育成を図ります。

《授業の到達目標》

1. 学級や学校での児童生徒の集団生活に関心を持ち、その人間関係、集団活動への関わり方、生活の充実に向けた指導の在り方を意欲的に学ぼうとする。
2. 特別活動の意義、目的、内容、各活動の特質などに関する基本的な内容を理解している。

《成績評価の方法》

1. 確認テスト 70%
2. レポート 30%
レポートは2回提出（15点 + 15点 = 30点）
○レポートは、小論文形式での提出する。
欠席・遅刻の状況に応じて減点されます。

《テキスト》

○使用しません。

《参考図書》

○『新しい特別活動 理論と実践』（株）ミネルヴァ書房

《授業時間外学習》

- 表現力育成のための小論文作成（レポートとして2本提出）
- グループ発表のための準備学習（パワーポイントで発表）

《備考》

授業に出席して学習することが重視されます。従って、確認テストとレポートの合計点から、欠席・遅刻の回数に応じて減点されます。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	オリエンテーション 特別活動の意義	オリエンテーションで学習の概要をつかむ。 自己紹介をし合ってグループ内の絆をつくり、役割分担をする。
2	特別活動の内容と目標	「特別活動」の具体的な内容と目標を小学校・中学校・高校別につかむ。
3	特別活動の歴史	特別活動の創設経緯（いきさつ）をつかむ。 学習指導要領の変遷（特活の歴史）を理解する。
4	特別活動と学習指導要領	「学習指導要領」の目標について、小学校・中学校・高校別に要点をつかむ。
5	学級活動 （目標と内容）	「学級活動」（＝学活）の具体的な内容と指導法の要点をつかむ。
6	学級活動 （具体的指導例）	「学級活動」（＝学活）の具体的な内容と指導法の要点をつかむ。
7	児童会・生徒会活動	児童会・生徒会活動の意義・具体的内容、その要点をつかむ。
8	クラブ活動 ホームルーム	クラブ活動・ホームルームの意義・内容、具体例について学ぶ。
9	学校行事 （目標と内容）	学校行事の意義・内容、指導の要点をつかむ。
10	学校行事 （具体的指導例）	学校行事の関連指導について、具体的に学ぶ。
11	特別活動と学習指導案 （指導観・指導計画）	特別活動の年間指導計画作成上の留意点をつかむ。
12	総合的な学習の時間と特別活動	特別活動の関連指導（「総合的な学習の時間」との）について、要点と実例を学ぶ。
13	特別活動と教科等との関連指導	特別活動と教科等との関連指導の具体例（クロスカリキュラムとの関連）を学ぶ。
14	特活と学習指導案	特別活動と学習指導案について学ぶ。
15	まとめと「確認テスト」	学習のまとめをする。 「確認テスト」を行う。